



Rotary 関ロータークラブ

2017-18年度国際ローターテーマ RI会長 イアンH.S.ライズリー
『ローター：変化をもたらす ROTARY: MAKING A DIFFERENCE』
2017-18年度 関ロータークラブ会長 テーマ
『温故(50)知新』 52代会長 後藤信介

■会長 後藤信介 ■副会長 土屋佳久 ■幹事 岩倉宏幸



D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT

本日のプログラム 第2500回例会 2018年5月20日(日)
「2500回記念例会」 於：関観光ホテル



ローター：
変化をもたらす

前例会の記録・第2502回 5月15日(火)12:30

「安全安心な街づくり」

岐阜県議会 議長 尾藤義昭様

◆開会点鐘

◆「それでこそローター」斉唱

◆会長挨拶



皆さんこんにちは。本日の卓話の方を紹介させていただきます。

5月8日の岐阜県議会で第127代議長に就任されました、尾藤義昭先生です。今日は議長就任のあいさつを頂きます、のち程宜しくお祈いします。

さて今日は働く幸せについて話をさせていただきます。

全国にいわゆる障がい者と呼ばれる方は700万人以上いらっしゃいます。これはあくまでも障がい者手帳を取得されている方の数字で潜在的にはもっといらっしゃる可能性があります。その中で実際に仕事をされている方は1割にも満たないそうです。

障がい者さんを企業が受け入れる法定雇用率は現在2%です。つまり50人従業員がいる企業なら1名、100人なら2名、1,000人なら20名です。そんな中で従業員76人中56人が障がい者さんという企業があります。実に7割以上が障がい者さんなのです。東京にある日本理化学工業所というチョークを作っている会社です。きっかけは57年前に特別支援学校の女子生徒2名の実習を受け入れたことだそうです。当時就職できない障がい者さんは福祉施設に入って生涯を過ごさなくてはならず、せめて一生に1度でも働く経験をさせてあげたいという考えから、支援

学校の教諭が日本理化学工業所に頼み込んで2週間の実習が実現しました。作業はチョークの箱のラベル貼りだったのですが、その作業を楽しそうに一生懸命されている2人の女子生徒を見て、実習の終わる直前に他の健常者の作業員たちから、このまま15歳で親元を離れて施設に入るのはかわいそうです。自分たちが面倒を見ますから雇ってあげてくださいと言われ、最初は同情から雇用をはじめたそうです。雇用主である大山会長は会社であくせく働くよりも施設でのんびりの方がよさそうなものだと思われていたのですが、あるとき禅寺の和尚さんにその疑問を問いかけたところ「人間の究極の幸せは人に愛されること、ほめられること、役に立つこと、必要とされることの4つ。そのうち後3つは働くことで得られる物です。福祉施設では味わえません」と言われました。それ以降、日本理化学工業所は障がい者さんの大量雇用に踏み切ったということですが、中小企業だったからこそ、できたともおっしゃっています。人間の究極の幸せは健常者も同じです。このエピソードは働くことは幸せなことなんだと教えられます。逆に感謝すること、ほめることで、人を幸せにできるということでもあります。すべての人が普通に暮らせる社会で、大事なことを忘れずに生きたいと思います。

◆委員会報告

◎出席委員会

委員 福田春彦

会員49名中 26名出席 出席率 54.17%

◎ニコボックス委員会

委員 木村聡

会長・副会長・幹事の皆さん・・・岐阜県議会議員 尾藤義昭様 議長就任おめでとうございませす。安全安心な街づくりについての卓話、よろしくお祈い致します。
清水(公)、酒井、藤井、高井、西本、杉浦、清水

(善)、加藤(浩)、林(昇)、小原、古田、長尾、常川、木村、大岩、岩本の皆さん・・・県議会議員 尾藤義昭先生、5月8日の臨時議会におきまして、議長就任本当におめでとうございます。又、本日は大変お忙しい中、関RC例会にご出席いただき誠にありがとうございます。卓話楽しみにしています。

亀井高利さん・・・尾藤先生、議長就任おめでとうございます。本日は、私の誕生日です。これもおめでたい！70歳になりました。

奥村敏教さん・・・妻がバースデーカードをいただいていたみたいですが、言い忘れていたみたいで、今さらですがありがとうございます。妻の誕生日は3月31でした。(2ポイント)

福田春彦さん・・・妻へのバースデーカードありがとうございました。大変喜んでいました。

◆「安全安心な街づくり」

岐阜県議会 議長 尾藤義昭様



先ほどご紹介いただきましたが、5月8日、臨時議会が開かれまして、私、尾藤義昭が127代目の議長に就任させていただきました。最初に私は、この卓話にお邪魔させていただきました。ところが、小瀬鵜飼の鵜飼開きがあるので来てくださいのご案内を

いただきましたので出席と返事をさせていただきました。鵜飼開きに行く予定ではありましたが、職員から、「当日はモロッコの全権大使がお見えになるということで知事と議長はお迎えをして一緒にレセプションに参加をしてください」ということでしたので、鵜飼開きには参加することはできませんでした。そうした中で今日のこの時間帯に何か行事が入って知事と一緒に出席しなければならない話があったならどうしようかと非常に心配をしておりましたけれども、おかげさまでお約束通り出席させていただくことができきました。また、こうして出会いの場を作ってくださいましたことに改めてお礼を申し上げたいと思います。

私は今まで学校を卒業して以来、政治家の秘書として、そして市議員として、県議員として、あるいは市長として、そして再び県議員として何十年長きに渡る間、あらゆる地域を訪問いたしました。当然外

国の地も自ら出掛け、そしてその国と日本の差はどうかということを目で確かめて参りました。そうした中で、モロッコの全権大使がお見えになられた時、知事が大使に私のことを「尾藤さんは、岐阜県関市の県議員です。」とご紹介くださいました。その後の言葉が「岐阜県関市は刃物の町で世界的に非常に優秀な、しかも有名な刃物を作っている地域です」というご説明をしていただきました。そこで私が「刃物と一口に言っても大変窓口が広く、爪切りもあればハサミもあればカミソリもあれば、手術用のメスもあればあるいはまたお札を切る刃も関市で生産しております」と申しあげました。その後知事が「関市と言えば、駐日大使を務められたケネディ大統領のお嬢様が日本へ大使として就任された時、日本全国に行かれたけれども、記憶の中の思い出に残る一つとして、岐阜県の関市を訪問した時、見せていただいた日本刀の美しさ素晴らしさには極めて感動をしました」という言葉も一緒に紹介の中に入れていただきました。私もはそういう話を聞くたびに、もっと関市のことを世界にアピールし、この街に生まれ育ったことに喜びと誇りをもって街づくりをしていくことが大事だとしみじみ感じたところがございます。私たちにとって大切なことは何か、それは安全安心な街が担保されて初めて安心して暮らすことができるわけです。先般、熊本県の地震と集中豪雨による土砂崩れの現場を視察しました。熊本のある町で話をされたのが「私たちのまちには地震はないだろう、なぜかといえば向こう30年間に起こりうる確率は約3割だ」という話でした。私たちの住む岐阜県はどうかというと、向こう30年間地震の起こりうる確率は8割だという予測を立てております。しかし3割しか起きないであろうと思っていたその地域、熊本に27時間の間に2回も震度7強を超える地震が発生したのです。これは大変なことであったと思います。そうした中でどうやって、大勢の人の命を守ることができたか、大勢の家族を守る事が出来たのか、それは地元の自治会の皆さん、消防団の皆さんがいち早く、どこの家にもどういう家族がお見えになってどういう状況だということをして行政に伝えることができ、そして行政は直ちに消防団並びに救助隊にあるいは自衛隊を要請することができた。ですから日頃の近所付き合いが大切だということ、こういうことが起きて初めて気が付きました。「自助・共助・公助」という言葉がございしますが、どんなことがあってもまず自助ですよ、こんなお話でした。私も今まで山古志村へも阪神淡路大震災の神戸へも淡路島へも、ありとあらゆる現場で起きた災害、一体どんな災害があったのか、あるいは、そういう災害に

住民はどう向かって行ったのか、あるいは救助隊はどういう事をしたのか、これは何十回何百回と本で読むより、人から話を聞くより自分の目で確かめて現場を見ることが大事であろうとそんな感覚からどれだけ多くの市、町を訪れたかわかりません。そこで関市の街は大丈夫かということになりますと、おそらく津波については大丈夫だろうと思います。関市は大変山が多くあります。何が起きるのか、当然、山津波が発生するであろうと思います。そうなりますと一本しかない道路の奥に住んでおられる人たちはどうなるのかということ想像して街づくりをしなければならないと思います。2年ほど前になりますが、新潟県の糸魚川市で一軒の中華料理店の鍋から火が出て、わずかの間に127世帯が焼けました。関市でこのような災害が起きないのかと言ったら、これはいつ起こるかわかりません。こういうことを考えて私たちは前に進んで行かなければならないと思います。そういうことから、安全な街を作っていくにはどうしたらよいか、色々ありますけれども、少なくとも、いち早く救助隊が駆けつけてくれる、消防署の救急車、消防車を皆様の生活圏と結ぶのは、行政の大きな責任であり仕事の一つでもあります。そこで春日神社の東側の道路が行き止まりで、今までずっとストップをしておりましたが、いろんな問題がクリアされ今年年度当初予算が認められました。鉄道と一般道の交差点に信号機を設置しなければならないので工事費がかかりますが人々の命にはかえられません。

岐阜県では、1年間に一万人の人口が減っています。人口200万人の岐阜県はあと200年したら岐阜県の人口はゼロになるということになります。そういうことになるかもしれない、そうした中で国は、少子高齢化をなくそうと声を大にして叫んでおられるけれども、どうしたらひとつの家庭が安心して子供を産み育てられるのか、育てながら働くことができるかということ根本的に考えていただけないのが今の社会です。ですからもっと根本的な問題をおおいに議論をしていかなければならないと思います。岐阜県の知事はその問題には積極的に取り組んでおられて、子供達が安心して保育園、幼稚園に通うことができるように、そしてお父さんお母さんが二人目、三人目、四人目と家族が増えるように、そんな家庭ができるよう我々は、最善の努力をしていくというのが私の考えでございます。

この岐阜県でアジアジュニア陸上競技選手権大会が6月7、8、9、10日の四日間にわたって開催されます。アジア全域46カ国でございますけれども、そのうち36カ国の選手約1000名とその関係者が岐阜県に

やってきます。この大会は初めて日本で開かれ、しかも岐阜で開かれるという事で、知事はじめ関係者は大変力が入っております。お土産として関の商品を使うことになっております。お土産は何になるか分かりませんが、メイドイン関のお土産を1000名に配ろうということになっております。この大会に出られた若者が社会に出られ、あるいはいろんな場面で活躍されたあかつきに、もう一回日本へ行こう、日本で仕事をしよう、日本人と結婚しよう、と素晴らしい結果が出てくるように、アジアジュニア陸上競技選手権大会を成功させる意義というのはそういうところにあるわけでありまして。いろいろ申し上げましたけれども一番大切なことは安全安心な街をどうやって作り上げていくか、お互いが考えあつていきたいと思っております。本日、私にこういう機会を与えていただき、まことにありがとうございました。

◆幹事報告

◎前例会で発表した宮本卓比郎さん 入会委決定
新会員インフォメーション実施後6月より入会

◎例会変更と休会通知

・可児RC

◆5月のゴルフ会

日時：5月13日(日)10:41スタート

場所：グリーンヒル関ゴルフ倶楽部



優勝：伊佐治啓司さん

次例会のご案内 5月22日(火) 12:30

「ファーストエイド

～その場に居合わせた人の救急処置～」

中濃厚生病院 院長 鷲津久登様 担当：R情報

例会：毎週火曜日12:30
例会場：岐阜県関市本町6-20大垣共立銀行関支店2F
事務局：岐阜県関市平和通7-10-25アメリカ